

土地改良区リレーインタビュー

能代市東土地改良区 事務局長 幸坂 いづみさん

土地改良区リレーインタビューの第4回目として能代市東土地改良区 事務局長 幸坂 いづみさんから様々なお話を伺いました!

インタビュー



幸坂事務局長

Q.1

事務局長に就任された時のお気持ちを教えてください。

初めて声が掛かった時は、正直なところ不安が大きく実は1度お断りさせていただきました。私たちの事務所は他の改良区と違い、女性だけで業務を行ってききましたが、今年度男性2名が加わり6人体制となったばかりです。男性職員がいるということは、他の改良区では普通のことであっても、本改良区にとっては大きな変化と言えました。このような事もあり、当時はとても不安が大きかったことを覚えています。しかし、幸い事務所には理事長をはじめ、頼りになる先輩方がいます。前事務局長からもアドバイス等をもらい、初代理事長が言っていた「全ては組合員のために!」をモットーに日々みんなで笑顔を絶やさず話し合いながら頑張っています。

Q.2

今まで行った業務の中で印象に残っているものはありますか。

様々ありますが、暗渠排水事業はとても印象的でした。一年間かけて全ての地区の業務を行いました。また、合併前は、職員は1人だけでしたし、前任からの引継の時間も短く、改良区での仕事内容も分からないまま業務をこなさなければなりません。現場に行き、夜は換地委員会というハードスケジュールでしたが、当時の理事長、役員の方々に教えていただきなんとか完成に至りました。



渡邊理事長と改良区の皆さん

Q.3

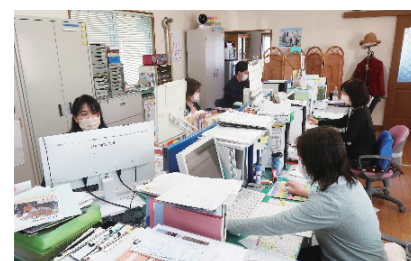
令和元年に「あきた水土里ネット女性の会」が設立されましたが、今後どのような活動に参加したいと思いますか。

コロナも段々と落ち着き、活動もこれからというところですので、他改良区の「施設巡り」を企画していただきたいです。事務所の中で仕事をしている女性も多いと思うので、現場に出て実際に施設を見る機会が大切だと思います。また、当改良区では、男女共同参画について理事会だけではなく各維持管理委員会でお話しさせていただいた地区があります。総代会時にはパンフレットも配布しました。すぐに女性理事の選出は難しいですが、少しずつでも様々な方に「女性の会」の活動を知っていただき、それが間接的にでも女性参画推進に繋がればいいと思います。

Q.4

これからNN業界を目指す女性にアドバイスなどあればお願いします。

改良区とは、一体何をしているところなのか、ましてや名前すら聞いた事がない方もおり、農業離れ、改良区離れも心配なところですが、しかし、そんな時代だからこそ「女性」が活躍できる場所だと思っています。今まさに、女性参画推進も積極的に進められ、性別は関係なくどんなことにもでも挑戦できる時代です。農業分野で働く女性就業者についてはマスメディアでも多く特集されておりますが、どの女性も明るく元気に仕事をされている方が多く、活気に満ちあふれているこの業界に1人でも多くの女性が興味を持って挑戦していただきたいです。



改良区の風景

男女共同参画
に関する

ひとロメモ

令和4年12月22日 第2回有識者委員会を開催 テーマ/男女共同参画を加速・推進するための方策案

●令和4年度有識者委員会委員(敬称略、五十音順)

委員長 太田 信介 (元農林水産省農村振興局長、前(一社)地域環境資源センター相談役)
委員 鈴木 紀之 葛西用水路土地改良区参事、葛西・羽生領島中領土地改良区連合所長
委員 富山 英幸 栃木県土地改良事業団体連合会事務局長
委員 西岡 真帆 清水建設株式会社人事部ダイバーシティ推進室長

◆委員長意見

・理事や総代への継続的・定期的な啓発が必要。理事会・総代会で行政職員から呼びかけていただきたい

◆委員意見

・女性理事候補をあげるには女性の視点が必要。男性だけでは選べず、女性の会とも連携を
・「土地改良区の規模が小さいから登用できない」の声に応えるよう登用事例を示すと良い

(土地改良団体における男女共同参画推進ニュース2023.1第10号より抜粋)

「災害応急用ポンプ」(水中ポンプ)による揚水デモンストレーションが開催されました



3月10日(金)秋田市金足の小泉揚水機場において、災害応急用ポンプ(水中ポンプ)の実機を用いたデモンストレーションが行われました。

本会では、豪雨による自然災害や水不足へ迅速に対応するため、災害時等農業用排水機能確保支援事業を活用した「災害応急用ポンプ」(水中ポンプΦ200mm)を導入し、本部、南北事務所に各3台、合計9台を設置しました。令和5年4月より会員を対象に貸付を開始することとしております。今回のデモンストレーションは、事前に応急用ポンプの性能を十分に理解してもらい、効果的かつ安全に使用していただくために開催されたものです。

当日は「豪雨による冠水で揚水機場の機能がすべて停止した」という想定のもと、ポンプ据付から排水までの一連の作業が実演され、約30人の会員、県関係者が見学しました。

デモンストレーションの様子



秋田県土地改良事業団体連合会 管理情報部 加藤 俊逸 部長よりひとこと

大規模災害が発生した場合、どうしてもライフライン復旧の方が優先され、かんがい用水の確保が遅れる傾向にあります。土地連の災害応急用ポンプの活用により災害発生直後からすぐに対応可能となる事は、大きなメリットであると考えます。



お知らせ

令和5年4月から災害応急用ポンプの貸付を開始します

- 貸付対象は本会会員とし、貸付料金は無料です。
- ポンプの積込み、運搬、据付、撤去、発電機リース代、運転管理負担は自己負担となりますが、運搬及び据付・撤去に要した費用は上限30万円まで土地連で助成します。
- 貸付期間は原則3ヶ月ですが、申請により、再度3ヶ月を限度とした延長が可能となります。
- ポンプの亡失・損傷については、自己負担で補てん又は補修をしていただきます。
- 期限を越えての使用、目的外使用や転貸の場合は、当該ポンプを返納していただきます。
- 貸付を受け運転中は「運転記録」を記入し適切に管理していただきます。

申請書等の様式については本会ホームページに掲載しますので、各種様式を記載のうえ、ご提出をお願いいたします。詳細については土地連管理情報部長 (Tel:018-888-2727) までお問い合わせください。

今年度で退職される職員の方をご紹介します。

1. 所属・役職 2. 一言

加藤 俊逸



1. 管理情報部 部長
2. 38年間大変お世話になりました。皆様のおかげで無事定年を迎えられます。ありがとうございました。
時が変わろうとも「農業生産基盤の整備」なくして食料の安定供給などありえない、これまでも、これからも、自信と誇りを持って前に進もう。

柏谷 直人



1. 農地整備部 測量班長
2. 平成元年から臨時職員で採用になり34年間お世話になりました。測量関係が19年、設計関係が15年と1階と3階の往復をさせていただき、異動になるたびにリハビリが大変だった事を思い出します。退職後は農家として地域の担い手になれるよう、精進していきたいと思っています。今まで大変お世話になりありがとうございました。皆々様の益々のご活躍を祈っております。

秋田の土地改良523号についてお詫びと訂正

1月16日発行の秋田の土地改良523号について、掲載内容に誤りがありました。訂正箇所は下記のとおりです。

11ページ：会員だより「事務所移転のお知らせ」ページの内容について峰浜村大沢土地改良区のお名前に誤記がありました。

ここに訂正し、お詫び申し上げます。

誤：峰沢村大沢土地改良区

正：**峰浜村大沢土地改良区**

連 合 会 日 誌

2月21日	令和4年度東北・北海道土地連第4回事務責任者会議並びに農業農村整備推進意見交換会（～22日）	宮城県
2月27日	第23回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール審査委員会	本会第1会議室
3月3日	全土連理事会	東京都
3月17日	本会第65回通常総会	秋田市
3月23日	全土連第65回通常総会及び全国水土里ネット表彰式	東京都
..... 今後の行事予定		
3月31日	退職者の送別式	本会第1会議室
4月3日	人事異動通知書交付	本会会長室



広報用模型とインフラカード

水土里レポーター：秋田県仙北平野土地改良区
総務課 主事 島山 慎吾

秋田県立農業科学館(所在地：大仙市大曲内小友)には農業水利事業広報用模型が展示されております。啓発活動の一環として、田沢疏水・仙北平野両土地改良区で共同製作しました。頭首工から取水した農業用水が地域内に造成された施設を経由して田んぼに流れる様子を、模型内の施設を可動させて水を流し表現しています。また、仙北平野管内施設インフラカードも製作し無料配布しております。



会員だより

新支部長、副支部長就任のお知らせ

- 秋田支部
 - ・支部長
男鹿市土地改良区理事長 中田 謙三
 - ・副支部長
馬場目川水系土地改良区理事長 加藤 光儀
 - ・副支部長
河辺郡芝野堰土地改良区理事長 齊藤 善悦

vol.32 ワレエ 感想文



毎回、表紙の写真を楽しく拝読させていただいております。季節ごとに変わる写真を見てとても癒やされる思いです。

今年も長い冬が終わり花時の季節がきました。今年はコロナを気にせず花見を楽しみたいと思います。

総務企画部 上杉 和子

編集 後記

今年の冬は「10年に1度の大寒波」が日本列島を襲い、本当に春が来るのかと疑いたくなるような厳しい寒さでしたが、最近ではそれが嘘のように暖かくようやく春が来たなど実感させられます。桜の開花も例年より早い地域が多く、本県に関しても満開になるのは4月の前半頃だそうです。県内には桜の名所が沢山あり、是非とも県外の方にも秋田の素晴らしい桜を堪能していただきたいです。

私は、今年度もこの「広報」という仕事を通して沢山の経験をさせていただきました。取材等でご協力していただきました関係者の皆さま、本当にありがとうございました。来年度も皆さまからご愛読いただけるよう、より良い会報誌を目指していきます。水土里ネット秋田を今後ともよろしくお願いいたします。

(政策・広報班 寺澤)

